

機構では、我が国の高等教育機関や評価機関との連携によって、大学等の情報や高等教育の質保証に関する情報、及び大学等における学習の機会に関する情報を収集・整理・提供するとともに、各機関と共同で質保証に関わる人材の能力向上のためのプログラムを開発しています。とくに、大学に関わる情報については、大学ポートレートを活用して国公私立大学の教育情報を公表・活用する仕組みを提供しています。また、国内外の質保証機関等との連携によって、国際社会における我が国の高等教育への信頼を維持し高めることに努めています。

大学等に関する情報の収集・整理・提供

●機構の評価事業及び学位授与事業に関する情報の提供

機構の評価事業及び学位授与事業に関する情報を、ウェブサイトで積極的に発信しています。評価事業に関しては、平成17年度以降に機構が行った認証評価、選択評価、国立大学法人における教育研究に関する評価、平成12年度から14年度着手の試行的評価に係る全評価報告書等を掲載しています。また、学位授与事業に関しては、機構の学位授与制度の概要、学位授与申請・試験に関する情報等を掲載しています。さらに、「機構ニュース」（広報誌）では、機構の評価活動に関する最新状況、大学評価に関するイベントの案内等を随時掲載しています（毎月更新）。

●大学等の教育研究活動等の状況に関する情報の収集・整理・提供

大学等における評価活動や教育研究活動等の改善に資するため、教育研究活動等の状況に関する情報等を収集・整理し、提供しています。

大学基本情報 (<http://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>)

国公立大学・短期大学から提供された基礎的な情報を蓄積し、大学・短期大学関係者及び高等教育に関心のある第三者の利便に供するよう、ウェブサイトで公開、データを提供しています。

掲載年度 平成24年度データから提供開始

主な掲載項目

- 学生数
 - 教員数
 - 学校施設に関する情報
 - 学生の卒業後の情報
- 等



●大学質保証フォーラム（平成29年度）

機構では、大学等の質保証に携わる人材の育成を図り、日本の高等教育への質保証文化の定着を図るために、毎年「大学質保証フォーラム」を開催しています。

テーマ：教員と職員 ― 学生のための大学をつくる ―

開催日：平成29年 8月7日（月）

会場：一橋講堂（学術総合センター 2階）（東京都千代田区）

参加者：約300名

概要：平成29年度は、大学における教員と職員の質をいかに向上させ、役割をどのように分担していくべきか、また、学生の視点に立った大学づくりとは何かについて議論を深めることを目的に開催されました。海外の専門家により、

英国政府による財政削減政策に伴い実行された大学の組織改革、英国とオーストラリアにおける質保証の取組や米国のスタンフォード大学における組織運営についての基調講演があった後、国内の専門家により、自らの経験や知見をもとに大学運営における教職協働の実現に向けた現状と課題についての発表が行われました。講演者全員によるパネルディスカッションでは、大学は職員の能力を高めるためにどのような取組ができるのか、大学は学生の意見をどのように反映していくべきか等について、活発な意見交換がなされました。



●大学ポートレート

大学ポートレートは、データベースを用いた国公立大学の教育情報を公表・活用する仕組みとして、大学団体及び認証評価機関等による自主・自律的な取組として構築が進められてきたもので、平成27年3月より国公立全体の教育情報の公表を開始しました。

大学ポートレートの目的

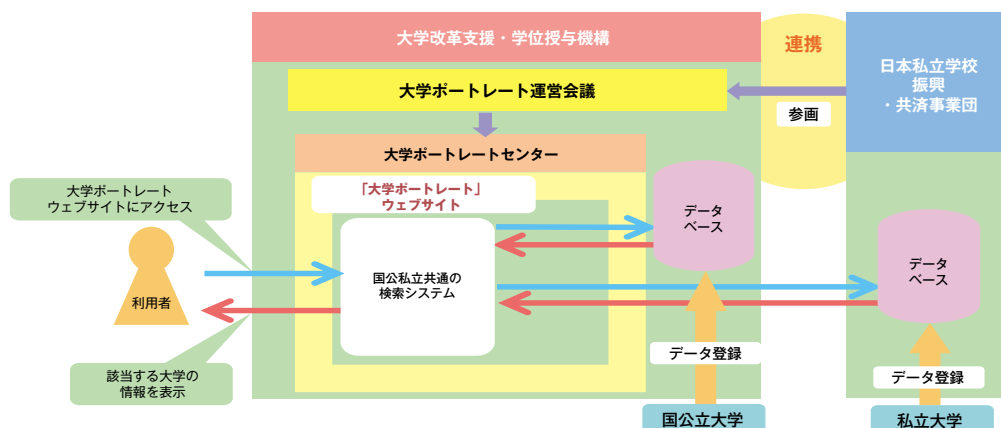
- 大学の多様な教育活動の状況を、わかりやすく発信することにより、大学のアカウンタビリティの強化、進学希望者の適切な進路選択支援、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上を図ります。
- 大学が自らの活動状況を把握・分析するために教育情報を活用することにより、内部質保証による大学教育の質的転換の加速を図ります。
- 共通の定義により基礎的な情報を収集・公表することにより、各種調査等への対応に係る大学の負担軽減を図ります。

大学ポートレートの情報収集・公表体制

大学ポートレートの運営に関する重要事項について審議する「大学ポートレート運営会議」が機構に置かれています。国公立共通の取組に係るプラットフォームの提供及び国公立大学の情報の取扱いは機構が担い、私立大学の情報の取扱いは日本私立学校振興・共済事業団が担当していますが、大学ポートレートの運用にあたっては相互に連携・協力を行っています。

また、機構の大学ポートレートセンターでは、大学ポートレート運営会議が決定した運営方針等をもとに、大学情報の収集・管理・公表・活用等に関する業務を行っています。

※「大学ポートレート運営会議」については、10ページを参照。



大学ポートレートによる教育情報の公表

大学ポートレートでは、大学の教育情報をウェブサイト (<http://portraits.niad.ac.jp>) で社会に公表しています。各大学の個性・特色や教育の内容等を把握するために、大学進学希望者をはじめ、政府、産業界、大学等の関係者が広く活用することが期待されています。

大学ポートレートの教育情報の活用

大学ポートレートに蓄積されたデータを活用して、各種の分析によって大学の教育研究の質の向上のための基礎となる情報を得られるように、教育情報の活用を図っています。



● 諸外国の高等教育質保証動向等に関する情報発信

機構では、諸外国における高等教育の質保証の動向に関する情報の収集を行っています。収集した情報は、機構刊行物「インフォメーション・パッケージ」、国際連携ウェブサイト、調査報告書、質保証に関するフォーラムの開催等、さまざまな機会を通じて発信し、高等教育機関における質の向上の取組を支援するとともに、機構の新たな事業の展開にも活用しています。

インフォメーション・パッケージ



機構は、高等教育質保証に関する基本情報をまとめた「インフォメーション・パッケージ」を高等教育関係者に広く発信しています。

《パッケージ収録物》

- ・ 高等教育に関する質保証関係用語集（日英併記）
- ・ 諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要（日・英※）
- ・ アジア地域の高等教育質保証－ASEAN各国一覧表、ブリーフィング資料（日）
- ・ 大学機関別認証評価に関する資料（実施大綱・評価基準・自己評価実施要項の分析留意点等）（英）

※中国・韓国の概要については日本語のみ

「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要」については、**日本、米国、英国、フランス、ドイツ、オランダ、中国、韓国、オーストラリアの各版**を作成・公開しています。また、「ブリーフィング資料」として、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、台湾、香港の情報を公開しています。

これらの資料は、日本の高等教育機関が国際展開を行う際に、日本の高等教育質保証のシステム等について、相手機関との相互理解の促進に役立てていただくものです。なお、電子版は下記の「国際連携ウェブサイト」に掲載しています。

国際連携ウェブサイト（<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/>）



国内外の高等教育関係者に、海外及び我が国の高等教育質保証に係る制度情報や改革等の動向について発信するため、機構ウェブサイト内で「国際連携ウェブサイト」を運営しています。

主なコンテンツ（国際連携ウェブサイト）

各国・地域の高等教育・
質保証の基本情報

インフォメーション・
パッケージ

国際化評価の
海外事例

次のコンテンツについては独立したウェブサイトに掲載しています。

高等教育質保証の海外動向発信 QA Updates - International ウェブサイト



海外の高等教育質保証の最新動向に関する記事をタイムリーに年間100件以上掲載しています。国・地域別、キーワードで検索・閲覧できます。

「共同教育プログラムのための 質保証」ウェブサイト



国際的な共同教育プログラムの立ち上げ・提供・運営に関して参考となる海外の情報を提供しています。

「キャンパス・アジア」 モニタリング・ウェブサイト



日中韓三国の質保証機関が連携して実施する、学生交流プログラムに対するモニタリング活動の実施結果や優良事例を掲載しています。

●大学等における各種の学習機会に関する情報の収集・整理・提供

高等教育段階の生涯学習を促進するため、大学における科目等履修の機会や、各種の高等教育レベルの学習の機会に関する情報等を収集し、学習者や高等教育機関及び研究者に対して提供しています。

『科目等履修生制度の開設大学一覧』

機構が行う「短期大学・高等専門学校卒業業者及び専門学校修了者等への学位授与」事業においては、基礎資格を有する者に該当した後の単位の修得は必須の要件です。単位修得のひとつの方法は大学における科目等履修生制度によるものです。機構では、大学における科目等履修生制度の開設状況について、平成4年度以来、各大学を通じて調査し、その結果を公表しています。最新版は、次のウェブサイトで参照することができます。また、平成30年度より、機構の学位授与事業に関して、科目等履修生に対し特別なプログラム等を設けている大学の紹介も行っています。

https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/kamokutou/



『独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧』

基礎資格を有する者に該当した後に修得すべき単位は、上記に記載した、大学における科目等履修生制度を利用するほか、機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科においても修得することができます。機構では、これら認定専攻科に関する各種情報について、平成5年度以来、各短期大学及び高等専門学校を通じて調査し、その結果を公表しています。最新版は、次のウェブサイトで参照することができます。

https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/senkouka.html



『学位に付記する専攻分野の名称』

機構では、我が国の学位制度に関する調査研究及び情報提供を行うため、我が国の大学で授与される学位に付記される専攻分野の名称を調査しています。平成28年度の実態調査結果は次のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.niad.ac.jp/publication/gakui/meishou.html>

また、この調査結果は、『大学評価・学位研究』に適宜、掲載されています。



質保証人材の能力開発のための取組

●質保証に関わる研修プログラムの開発

機構では、大学等における内部質保証に代表される高等教育機関による主体的な質の維持向上のための活動を支援するため、大学や評価機関と共同で、質保証事業に従事する関係者を対象とした研修会やセミナー等の研修プログラムを開発することにより、高等教育の質保証に関わる人材の能力向上に努めています。

●大学質保証ポータルサイトの開設

大学等における教育研究の質保証に関する情報を広く提供することを目的として、「大学質保証ポータル」を開設しました。大学等の質保証に関する基礎資料や、質保証に関わる人材育成の研修教材など、「質保証」の理解に資する情報の発信に取り組み、今後さらにコンテンツの充実を図ることとしています。



大学質保証ポータル (<https://niadqe.jp/>)

国内外の質保証機関等との連携

● 認証評価機関連絡協議会

我が国の認証評価機関13機関により組織される認証評価機関連絡協議会に参画し、他の認証評価機関との連携を図っています。同協議会では、我が国の高等教育の質の保証と認証評価の充実に向けた協力体制によって、相互の連携及び情報の共有を促進し、評価結果や大学の優れた取組等の情報の積極的な発信や職員研修の実施に取り組んでいます。



「認証評価機関連絡協議会ウェブサイト」
<https://jnceaa.jp/>

● 海外の質保証機関等との連携協力

機構は、諸外国の質保証機関との間で連携協力の覚書を交わし、機関訪問やスタッフ交流等による人材交流を図るほか、共同プロジェクトの実施やセミナーの共同開催等を通じて、日本の高等教育の質保証活動の改善に資するよう、努めています。また、高等教育質保証機関の国際ネットワーク（INQAAHE）やアジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）に加盟し、ネットワークを通じた相互理解の促進や、優れた取組の共有を図っています。

〔大学改革支援・学位授与機構の覚書締結機関等〕

欧米	アジア／大洋州
英国高等教育質保証機構（QAA）	中国教育部高等教育教學評価センター（HEEC）
オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic）	香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）
オランダ・フランダースアクレディテーション機構（NVAO）	韓国大学教育協議会（KCUE）
フランス研究・高等教育評価高等審議会（HCERES）	マレーシア資格機構（MQA）
ドイツアクレディテーション協議会（GAC）	インドネシア国立高等教育アクレディテーション機構（BAN-PT）
米国高等教育アクレディテーション協議会国際質グループ（CIQG）	台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）
	オーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA）
	タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）

● 日中韓連携・東アジア共同教育プログラムの質保証

機構は、中国・韓国の質保証機関と「日中韓質保証機関協議会」を組織し、日中韓における質保証を伴った大学間交流の促進のために、共同のプロジェクトを実施しています。当協議会では、「キャンパス・アジア」構想のもとで展開されている日中韓の大学による学生交流プログラムにあわせて、共同で質保証のためのモニタリングに取り組んできました。欧州における「エラスムス・プラス」プロジェクトをはじめ、国境を越えた教育プログラムの提供とその質保証の取組が世界各地で展開されているなかで、東アジアにおいても、質保証のための共同の取組を通じて得られる成果を広く発信・共有していくこととしています。

「キャンパス・アジア」における共同の質保証の取組（モニタリング）

「キャンパス・アジア」は、日中韓の政府が共同で三カ国の大学間の質保証を伴う学生交流を拡大するという構想です。当機構は、中国、韓国の質保証機関と共同で、「キャンパス・アジア」の学生交流プログラムに対する質保証の取組として、平成23年度よりモニタリング活動を行っています。モニタリングはこれまでに2回実施しており、最初の1次モニタリングでは、日中韓各国における自国の関連法規や評価手法を踏まえて、平成25年度に各国個別に行いました。2次モニタリングでは、1次モニタリングの経験を踏まえ、三カ国共同の基準、手法、様式等を作成して平成27年度に日中韓共同で実施しました。

これらの結果は、国際共同教育プログラムの構築や質保証に資するため、優良事例等を取りまとめた共同モニタリング報告書や、質保証の枠組みを明記したガイドラインとして、国内外に広く発信しています。同報告書及びガイドラインは次のURLよりご確認いただけます。

https://www.niad.ac.jp/n_kokusai/campusasia/second_monitoring.html

本モニタリング活動は、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）において功績が認められ、2018 APQN クオリティ・アワードを受賞しました。

今後も、日中韓の質保証機関と協力して、国際共同教育プログラムの質保証向上にかかる取組を行っていく予定です。



APQN 年次総会での発表
(平成29年5月)